

2010 年度 学術交流支援資金 報告書

科目名 「社会的組織の経営（ヒューマンセキュリティ）」

研究代表者 秋山美紀（慶應義塾大学 総合政策学部 准教授）

研究組織 ヘルスサービス研究会 WEB

1. 研究目的と課題

本研究は、ヘルスサービス分野においてケースメソッド教育を採用している授業に向けて、良質かつ社会状況の変化に柔軟に対応したケース教材を提供するために、ケース教材の作成、改良を支援する WEB システムの開発、およびケース教材の新規作成と既存ケースの改良を行うものである。

ケース教材は、現実の事象を題材とした意思決定の問題を受講者に考えさせることで、理論などを現実世界に応用する術を学ばせるために開発された教材であり、教室内において現実を追体験することを可能にし、その教育効果は高い。しかし、とくにヘルスサービス分野においては教材の蓄積が乏しく、また社会制度も年々変更されるため、新規教材作成だけでなく、継続的な修正、改良が必要となる。これらの問題を解決し、大学教員だけでなく、現場のスタッフや政策担当者も利用可能なケース教材の開発、改良、公開を支援する WEB システムを構築する。システム上には、ヘルスサービス研究会でこれまで開発、蓄積してきた 18 本のケース教材を改良して公開しており、今後さらに新規の教材も登録する。これらのケース教材は「社会的組織の経営（ヒューマンセキュリティ）」や関連する講義にて活用するほか、現場におけるスタッフ研修等にて活用できるようにプロジェクトとして支援してゆく。

2. 研究活動の概要

本年度の研究活動は、主に次の 4 点を中心に行った。第一に、よりよいケースへとリライトしてゆくためのケース教材見直し検討会の実施である。詳細は以下に記載したように、本年度は 8 本のケース教材について検討を行った。

第二に、ヘルスサービス分野におけるケース利用を行っていくための情報交換と、ケースのリライトに向けた課題の共有と適切なアドバイスを得ていくための勉強会を開催した。シンポジウムの詳細も、下記に記している。

第三に、ヘルスサービス分野において、近年注目されている学際的な研究分野である社会疫学 *social epidemiology* に注目し、この勉強会を開催した。これは、健康格差の問題を社会的な視点から考察する者であり、狭い意味での公衆衛生領域に留まらない政策立案における基盤的知見を提供する可能性を秘めたものである。そこで、疫学を専門とする医学部の武林教授の協力を頂き、積極的に勉強会の開催を行った。

第四に、「ケース教材の見直し検討会」「ケースメソッド教育法に関する勉強会」を通じて、改良を施したケース教材を広く公開するために、ヘルスサービス研究会のウェブサイ

トを更新した。具体的には、複数のメンバーが自由に、ケースのアップロードやニュース記事等を登録、更新ができる動的サイトへと更新した。

3. 各研究活動の詳細報告

(1) ケース教材見直し検討会の実施

本年度は以下のこれまでに作成してきた 8 本のケースに関して教材内容のリライトに向けた見直し検討会を実施した。見直しにおいては、改めて「ケースの教育目標」「課題設定」「ケース対象者」「キーワード」の適切さを主な検討課題とした。以下、検討会の概要を記載する。

◆ケース教材見直し検討会概要

- ・日 時： 10月27日(水) 19:00~21:30
- ・場 所： 慶應義塾大学 信濃町キャンパス公衆衛生学講座
- ・ケース名： 「高齢者をいきいきと-地域保健と介護予防事業」(秋山)
「アンビション」(伴)
「介護と仕事の両立」(伴)
「介護施設における医療のあり方」(中島)

- ・日 時： 12月1日(水) 19:00~21:30
- ・場 所： 慶應義塾大学 信濃町キャンパス公衆衛生学講座
- ・ケース名： 「外国人看護師・介護福祉士受け入れ」(渡辺)
「介護人材確保・就業促進事業 一都道府県の取り組みー」(伴)
「都道府県における訪問看護事業の推進」(中島)

- ・日 時： 12月27日(月) 18:00~20:00
- ・場 所： パパミラノ 信濃町店
- ・ケース名： 「きぼうのいえ」(秋山)

(2) ヘルスケア分野のケースメソッド教育法についての勉強会の実施

2010年2月23日、慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究(G-SEC)5階交流スペースにて「ヘルスケア分野のケースメソッド教育法」をテーマに、ヘルスケア分野及びケースメソッド教育法に関心のある方を対象とした勉強会を開催した。

少子高齢化の進展や個人のニーズの多様化に伴い、政策決定者及び医療・福祉分野の従事者は、日々困難な意思決定に直面している。「政策」や「運営」についての事例研究の機会は限られており、良質なケースの開発が求められている。様々な社会状況、法制度、価値観、倫理等様々な次元の問題が複雑に絡み合うヘルスケア分野の事例について、誰を対象に、何を焦点として、いかに学びを促すかが課題となっている。そこで、勉強

会ではケース・リードのデモと課題提起を行った上で、ケースメソッド教育研究所の竹内伸一先生にケースの作成・指導についてご指導を頂いた。

◆ヘルスケア分野のケースメソッド教育法（勉強会）

- ・日程：2月23日（水）14時～16時半
- ・場所：慶應義塾大学 グローバルセキュリティ研究（G-SEC）5階 交流スペース
- ・アドバイザー：ケースメソッド教育研究所の竹内 伸一先生
- ・ケースリード・デモ：伴英美子 SFC 研究所 上席研究員（訪問）

ケース概要：「有限会社アンビション -介護事業所の組織マネジメント-」

本事例は人材不足が社会問題化している介護分野において 90%以上の定着率を維持する介護事業者の事例である。会社を”ファミリー”と位置付け、かつての日本的経営を思わせる雇用管理を採用している。本事例は創業から4年の軌跡と今後の事業展開を扱う。

ケースに伴う Question は、以下の3点である。

- 1) 有限会社アンビションの事業が利用者、従業員、外部から高い評価を受けている要因として何が考えられますか
 - 2) 今後の組織マネジメントにあたって何が課題なると考えますか
 - 3) 今後アンビションが成長するためにはどのような事業展開をすべきでしょうか
- ・ヘルスサービス関連のケース作成・ティーチングにおける課題：秋山美紀 慶應義塾大学 総合政策学部 准教授

事前に、秋山美紀、伴英美子、中島民恵子より各自の作成したケースにおいて、竹内先生にお伺いしたい質問事項を送付し、当日それらも含めて竹内先生とのディスカッションを行った。

議論の概要は以下のようになる。

SFC 研究所上席研究員（訪問）であり HSR メンバーの伴英美子氏が、自身が作成したケース「有限会社アンビション -介護事業所の組織マネジメント-」を用いて、デモンストレーションを行った。最初に介護風景が分かる映像を2～3分見たあと、Question に沿って参加者とディスカッションを行い、その後、ケース・リードに対するフィードバックを参加者から得た。特に、ビデオの使用方法、設問の設定方法、板書方法等への意見が出された。

後半は、秋山美紀氏が全体進行を進めながら、「ヘルスサービス関連のケース作成・ティーチングにおける課題」について参加者からの質問や意見も踏まえ、竹内先生からアドバイス等を頂いた。特にケース作成や運用においては、山のふもとから山頂にかけて登っていくイメージと重ね合わせて「トピック（知的活動として知る）、論点（着目する）、討議目的（考える）」の3つ視点を持つことが必要であることが示された。ケース作成、運営者

は、対象者によってどのポイントを重視するかを明確にし、ケースとともに教室に持ち込める素材、学習者に対する「しかけ」を考えておく重要性が示された。出席者は大学教員、研究員、実践経験のある大学院の学生など10名であり、様々な立場から活発な議論が展開された。

(3) 社会疫学に関する勉強会

ヘルスサービス分野において、近年注目されている学際的な研究分野である社会疫学 social epidemiology に注目し、この勉強会を開催した。これは、健康格差の問題を社会的な視点から考察する者であり、狭い意味での公衆衛生領域に留まらない政策立案における基盤的知見を提供する可能性を秘めたものである。そこで、疫学を専門とする医学部の武林教授の協力を頂き、積極的に勉強会の開催を行った。また、医療経済学の兪炳匡先生をお招きして、インフルエンザワクチンの有効性に関する研究報告と議論を行った。

◆勉強会の日程

7月9日(金) 18:00~20:00 湘南藤沢キャンパス

Social Epidemiology 1章、2章(渡辺)

8月2日(月) 9:30~11:30 信濃町キャンパス公衆衛生学講座

Social Epidemiology 3章(渡辺)、4章(古城)、5章(伴)

9月2日(木) 18:30~21:00 @ 信濃町キャンパス公衆衛生学講座

Social Epidemiology 8章(中島)、15章(渡辺)

10月7日(木) 19:00~21:00 @信濃町キャンパス公衆衛生学講座

Social Epidemiology 11章(秋山)

◆研究報告会

テーマ: Effects of Mass Media Coverage on Timing and Annual Receipt of Influenza Vaccination among Medicare Elderly (Yoo2010 論文)

講師: 兪炳匡さん

時刻: 7月6日(火) 19:30~21:00

場所: 湘南藤沢キャンパス τ32

(4) ケース教材のアーカイブ機能の充実

「ケース教材の見直し検討会」「ケースメソッド教育法に関する勉強会」を通じて、改良を施したケース教材を広く公開するために、ヘルスサービス研究会のウェブサイトを更新した。具体的には、複数のメンバーが自由に、ケースのアップロードやニュース記事等を登録、更新ができる動的サイトへと更新した。